

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	木質系住宅の振動障害に関する小委員会		主 査 名：中村 昇 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)		委員長名：中島正愛 主 査 名：河合直人
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>人体振動を考慮した木質系住宅の振動障害の現状や評価等も含めて明らかにし、評価等級等の提言を行う。</p> <p>2008 年～2009 年：全身振動・地盤からの木質構造本体への入力・木質系住宅の揺れを基にした振動障害等に関する研究動向の把握</p> <p>2010 年：木質系住宅の増幅量のデータ収集および増幅メカニズムの解析</p> <p>2011 年：木質系住宅の振動設計指針(案)の作成</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：中村昇(秋田県大)、幹事：佐野泰之(ベネック振動環境研究所) 塩田正純(芝浦工大)、伊積康彦(鉄道総研)、入江康隆(宇都宮大)、梶川久光(ミサワホーム)、 川本聖一(三菱地所ホーム)、小島由起夫(積水ハウス)、新藤智(法政大学)、末吉修三(森林総研)、 藤野栄一(職業開発総合大学校)、松本泰尚(埼玉大学)、守屋嘉晃(建材試験センター)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2010 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 木質系住宅の振動障害の現状と問題に関するシンポジウム 参加者数 53 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. シンポジウムを開催し、参加者から積極的な質問があり、当初の目的を達成できた。 2. 入力に対する各階での増幅量に関する調査を数棟実施した。今後さらなる実験およびデータ収集を行う予定。 3. 振動設計指針(案)に関しては、議論を行なっている段階である。
委員会活動の問題点・課題	1. 欠席者が固定されてしまっており、何らかの対応が必要である。 2. 毎回様々な資料が出ている。最終的な指針(案)に向けてまとめる方向に進みたい。 3. クレームの中味に繋がるためなかなか難しいが、企業の委員の方々からの発言を期待したい。